

社会福祉法人クピド・フェア K・P' 96

コスモファーム岩見沢（岩見沢市）

○基礎情報【経営形態：水耕栽培（リーフレタス）】

【従業員数：7名（うち障害者数：4名）】



<問い合わせ先>総務部総務課 ☎ 0126-23-1111

1 農福連携に取り組んだ経緯

社会福祉法人クピド・フェアは、昭和41年に社会福祉法人岩見沢緑成園として設立以降、多岐にわたる障害者の就労支援事業を行ってきている。平成16年に「障害があってもできる農業」をコンセプトとして、バリアフリー環境により、リーフレタスの水耕栽培を行う完全密閉型植物工場「コスモファーム岩見沢」を開設した。

2 取組内容

- (1) 就労形態：就労継続支援B型事業所。グループ福祉施設の利用者から障害者4名（うち身体障害1名、精神障害3名）を雇用しており、工場内で一緒に作業する管理者2名とパート1名がサポートをしている。障害者全員が自家用車又はバスで通勤しており、送迎は行っていない。
- (2) 就労時期：通年。
- (3) 就労時間：8:30～17:00（土・日・祝祭日は休日）
- (4) 工賃：出来高制（各工程の標準作業時間に対する単価を設定）



3 植物工場の特徴

- (1) 全ての行程を完全密閉型工場内での厳重なチェックの下、発光ダイオード（LED）を利用した水耕栽培を行っており、1日約100kgのリーフレタスを生産し、出荷している。
- (2) 当初はスーパーでの販売に力を入れていたが、露地野菜と競合することから売上が安定しなかった。現在は生産したリーフレタスの7～8割を業務用として出荷しており、害虫等の心配がなく水洗いが不要なことから、ホテルのビュッフェや空港などの弁当用として重宝されている。
- (3) 平成23年の東日本大震災を契機に、安全・安心であることが再評価されたことや、栄養価が高く、くせのない味が評価され需要が高まったことから、現在では黒字化を達成している。

4 障害者就労の取組状況

- (1) グループ全体として植物工場以外での就労支援も行っているが、グループ福祉施設にて本人の希望や適性を判断して雇用している。
- (2) 植物工場を見学し、就労を希望して新たにグループ福祉施設の利用を始めた障害者の方もいる。
- (3) 工場内での就労であるため通年雇用が可能であり、露地野菜がオフシーズンとなる冬期間の方が忙しくなる。
- (4) 障害者の方には、播種～株分け～収穫～トリミング～梱包までの一連作業の技術を習得してもらっている。作業はマニュアル化しており、障害者だからといって任せられない作業は特にはない。
- (5) 知的障害を持っている者もいることから、いつでも作業手順を確認することができるように工場内に作業マニュアルを常備している。

5 今後の課題や将来展望

- (1) 工場運営のために必要な経費の大部分がLEDパネルの電気代である。ただ、昨今の電力自由化によって、これまでより安価での契約が可能となったことから、負担がかなり軽減されている。
- (2) 平成23年に経済産業省の補助金を活用してLEDパネルを更新したが、より効率的に光を浴びせることができる高性能のLED照明設備に更新したいと考えている。
- (3) 工場建設費用の大半を自己資金から拠出したため、新たに同様の取組を行いたい者にとっては初期投資が課題になると思う。
- (4) 平成24年には美唄市のグループ障害者施設内にも小規模の植物工場（出荷量は岩見沢の1/5程度）を建設して障害者雇用を行っている。安定的な経営を行い、施設規模を拡大することで障害者の雇用拡大を目指したい。